

八ヶ岳総合博物館 ☎73-0300

神長官守矢史料館 ☎73-7567

## 博物館情報

休館日 3月4日(月)、11日(月)、18日(月)、21日(木)、25日(月)

開館時間 博物館 9時～16時30分(見学は17時まで)  
史料館 9時～16時30分

観覧料 博物館 大人310円、高校生210円、小中学生150円  
史料館 大人100円、高校生70円、小中学生50円

★check★



博物館  
ホームページ



史料館  
ホームページ

### 昼間の星を見る会

日時 3月10日(日) 10時～11時

場所 北部中学校天体ドーム  
(北部生涯学習センター)

定員 20名

料金 無料

その他 雨天曇天の場合は中止。

※要申込



### 博物館で星空観望会&望遠鏡相談会

日時 3月16日(土) 19時～20時30分

場所 八ヶ岳総合博物館

講師 市民研究員天文グループ

定員 20名

料金 無料

その他 雨天曇天の場合は室内で星・宇宙のお話をします。

※要申込

### 定例イベントスケジュール

※申し込みは、前月20日(休館日の場合は翌開館日)から電話で受け付けます。  
※イベントの詳細はホームページなどでご確認ください。

#### さきおりでランチョンマット

日時 3月9日(土)、10日(日)、  
10時～11時30分と  
13時～14時30分

対象 小学校高学年以上

定員 各回5名

参加費 400円

※要申込

#### 星空観望会

日時 3月2日(土)

19時～20時30分

場所 北部中学校天体ドーム

定員 20名

参加費 無料

その他 雨天曇天の場合は中止

※要申込

#### ★3月のプラネタリウム 「縄文人がみた星空」

日時 土・日・祝日

10時30分～、13時30分～

定員 8名

料金 通常入館料

その他 休止あり。予約時にお確かめください。

※要申込



## 尖石縄文考古館

Chino × Jomon



3月の休館日 4日(月)、11日(月)、18日(月)、  
21日(木)、25日(月)

開館時間 9時～16時30分  
(観覧は17時まで)

☎76-2270

E-mail togariishi.m@city.chino.lg.jp

考古館ホームページ

掲載されている以外の情報は  
ホームページをご覧ください。



### 尖石縄文考古館のさまざまな活動を応援してくれる方を募集します。

尖石史跡公園および管理地内の清掃・外来生物駆除・エゴマ栽培を応援してくれる方を募集します。これらの活動に参加して下さった方には、令和6年度中に考古館に無料入館できる会員証を差し上げます。最初の活動予定は、4月13日(土)史跡公園内の落枝清掃です。詳細は申込時にお伝えします。直接ご来館いただくか、電話、メールでお申し込みください。



茅野市民館  
Chino Cultural Complex  
茅野市美術館  
Chino City Museum of Art



茅野市塚原一丁目1番1号 (JR茅野駅東口直結)  
TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223  
休館日 火曜日(火曜が祝日の場合、翌平日)、年末年始  
http://www.chinoshiminkan.jp/



### 第12回 寒天寄席

#### 二代目桂春之輔 襲名披露公演

地域の皆様に親しまれてきた「寒天寄席」。今回は、上方落語の二代目桂春之輔襲名披露公演を行います。四代目桂春團治ほか総勢6名が落語を披露。春の訪れにふさわしく、華やかに開催します。

3/20(水・祝) 14:00開演  
マルチホール (13:30開場)

出演 桂春之輔、桂春團治、内海英華、  
桂春雨、桂咲之輔、桂小留

主催:寒天寄席実行委員会  
共催:茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

料金(全席自由)  
前売 2,500円  
ペア券4,500円  
当日 3,000円  
※ペア券は前売のみ



### 第4期収蔵作品展

#### 見る 感じる 手触り

～3/27(水) 9:00～19:00

常設展示室  
観覧料:無料 火曜休館

#### 関連企画

●3/3(日)11:00～  
きてみて!  
ギャラリーツアー

●3/16(土)11:00～  
学芸員による  
作品解説会

\*参加無料、申込み不要

収蔵作品のなかから「手触り」をキーワードに、14名の作家による日本画、洋画、彫刻、版画、工芸の作品を展示します。



宮芳平《母と子II》1954年

本展では、2023年に生誕130年を迎えた洋画家・宮芳平の当館収蔵の5作品を展示するとともに、工芸家・和泉清の新収蔵作品を紹介しています。それぞれの表現方法から伝わってくる手触りを想像しながら、鑑賞をお楽しみください。